

岩手郡医師報

高橋 孝先生書



高橋 孝先生画

Contents

平成 13 年度決算総会 (特集)

- 岩手県医師会長挨拶 (要旨)
- 高橋牧之介岩手郡医師会長挨拶 (主旨)
- 平成 13 年度岩手郡医師会事業計画
- 議事
- 会務報告
- 参議院選挙武見敬三候補選挙対策について
- 郡市医師会長懇談会について
- 岩手県医師信用組合より
- 第 13 回東北学校保健、学校医大会の報告
- 産業医部会より
- 新入会員紹介
- 特別講演「アレルギー性疾患としてのアトピー性皮膚炎」東北大学助教授
- 第 9 回岩手県北周産期研究会
- 経済財政諮問会議「基本方針」の主な論点と影響
- 日本医師会の声明
- 平成 13 年度岩手郡医師会春期親睦ゴルフ大会
- 産業廃棄物に思う
- 安比高原にコーラスが流れた
- 恥ずかしながら表紙の絵
- 編集後記

石川 育成

根本 忠夫
高橋 孝
秋浜 晃
上原 充郎
八角 正司
高橋牧之介
照井 正
坂井 博毅

坂井 博毅
西島 康
上原 充
高橋 孝

2001.8.No.70

岩手郡
医師会

特集 平成13年度岩手県医師会決算総会



高橋会長による
石川県医師会会長紹介



石川県医師会会長挨拶

平成13年度岩手県医師会決算総会は去る7月7日午後3:30より、ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングで開催された。会に先立ち石川育成岩手県医師会会長から今回の参議院選挙に関する日本医師会の医政の基本理念と取り組みについて解説があり、医師会の意見が政治に反映されるためには、医師会のことを良く理解し、医療、保健、福祉に堪能な人を議会に送るばかりでなく、選挙制度改革により、医師会の結束力、医政の真価が問われる選挙であると力説された。医師会は何故いつまでも自民党だのご批判もあるが、世界に冠たる医療保険制度を改革しつつ守るには、政権政党に委ねるしかないのではないか。石川批判や個人批判は別として、制域なき改革の一端として行われるであろう医療改革が、国民の健康福祉に日夜努力している現場の医師の意見が反映された改革でなければならない。

これまでの比例代表選挙では、医師会は低く見られ、当選しても最下位、或いは繰り上げ当選と言う情けない状況でした。これを打破し医師会の力を示すためには小異を捨て大同につき、今回の選挙では是非武見敬三さんを圧倒的多数の上位当選をさせていただき、医師会の底力を見せていただきたい。医師会の隆盛を示した武見太郎さんのご子息である武見敬三さんに医療改革の最善を託そうではありませんか。と言うような主旨をお話になりました。

会長挨拶（主旨）

6月は、参議院選挙の対策やら決起大会など、県医師会の臨時代議員会、県医師会総会・岩手医学会春季総会と日程の都合がつかず、本日の開催になったことご承願います。13年度の事業計画については、3月の総会でお図りし承認された通り会務は現在順調に始動しております。



高橋会長挨拶

新制医師会が設立され半世紀50数年が過ぎ、当医師会も節目の時期を迎えました。この頃岩手県医師会では会員の増加が目覚ましく、ついに100名を越えました。会員の増えるのは喜ばしいかぎりであります。というのは、開業するのは若い先生方なので、若い先生の医師会参加が医師会の活性化、活力源に繋がるからであります。

我々は、地域住民に開かれた医師会として保健・医療・福祉に貢献してきたし、21世紀これからも医師会事業を軸に各医療機関の機能分担と連携を進め、地域医療システムを構築し、関係諸機関と協力しながら、保健医療福祉に携わる人々と連携し、地域医療の実践に励まなければなりません。これが開かれた医師会活動ということだと思います。

坪井日本医師会会長は、4月1日の日医定例代議員会で、「医療構造改革構——国民が安心できる医療制度をつくるために」を公表した。これは現時点での日医の医療政策の総編集であるとしている。

この中でも高齢者医療制度改革が平成14年度の改革で最優先課題に位置づけられている。

今回、日医が冊子を作成し公表した背景には、政府・与党社会保障改革協議会、経済財政諮問会議、支払い側の各団体が、医療費抑制に主眼をおいた経済主導の改革論議を進めていけることが挙げられる。今後、この改革構想

の趣旨説明を、一般国民向けのより分かりやすい冊子を公表し、日医の改革案に広く国民の理解を求めて行く方針のようである。

これらの、医療を提供する立場の主張は、この度の参議院議員選挙の結果如何に左右されますので、最終的には政治の場で決着が着くと思われます。

第19回参議院議員選挙は選挙区は玉沢徳一郎候補・比例区は日本医師連盟推薦の武見敬三議員を全力で支援しましょう。

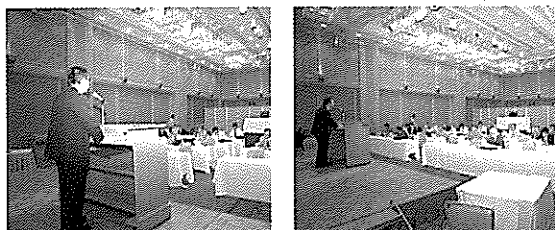
今後とも、医師会は医政の確立・遂行のため、国政に訴え国民の皆様の理解と支援を得る以外に方法はない。

武見議員が今後も医政における種々の要望事項、情報事項、情報収集などを迅速に対応し、素晴らしい医政の確立、遂行のため今回の比例代表選挙に最高得票を獲得すべく切磋琢磨して頑張りましょう。

武見議員の最高得票獲得の成否は、我々医師会会員一人一人の双肩にかかっておりますので、宜しく願います。

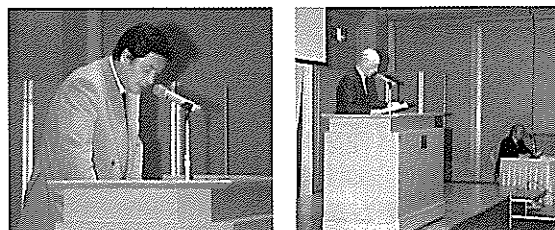
議 事

会長挨拶に引き続き高橋孝先生の議長により議事にと会議は進行された。



総会風景

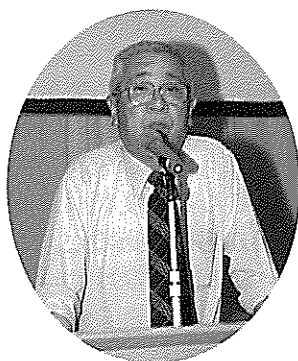
下記の平成12年度岩手郡一般会計決算書、休日当番医決算書、特別会計決算書が久保谷康夫理事から報告され、三善悟監事から縷々適切であるとの監査報告がなされ、質疑に入った。質問もなく満場一致で可決されました。



久保谷理事

三善監事

会務報告



スペシャリストで実地医家や医師会の総意を代弁していただく最適任者ですのでよろしくお願いいたします。

(1) 参議院選挙武見敬三候補に対する県医師会医政の取り組みについて

医政担当理事

根本 忠夫

医師会の結集力が試される、重大な選挙であり、医療、保健、福祉の



(2) 平成13年度第1回郡市医師会長懇談会について(平成13年6月6日午後3時於岩手県医師会館)

副会長 高橋 孝

懇談は「1」県立病院所属会員の会費問題並びに移動手続きおよび各郡

市医師会費の平準化についてと「2」日本医師会医師賠償責任保険について、との二つの問題について懇談があった。

県立病院所属の医師会員の問題

新聞紙上でご存じの通り県立病院、公的病院に所属する医師会員の会費が公的機関からの納入負担の是非が問題になりつつあります。また一方会費が自己負担であれば、医師会加入を躊躇している会員もおられることから、このことによって今まで行ってきた予防活動、公衆衛生面の活動ができなくなるのではとの危機感よりこの問題が提起された。勿論医師会費は医師会、医師会の活動状況などあらゆる条件によって異なることが当然だと思います。しかし医師会を移動した場合に会費に大きな開きがあったり、移動の手続きの繁雑さがあると、益々入会する会員が少ないのではとの考えから、会費の平準化は継続の話し合いとした、ただし移動して他医師会に入会する場

合の入会の手続きの簡便化については、県内移動の場合は退会する医師会と新たに入会する医師会への届け出で、他の届出の記入についてはコンピューターに入力されているので県医師会の事務局で記入して移動についての簡便化を図ることとした。

日本医師会医師賠償責任特約保険の新設には二つの大事な特色がある。

〈1〉高額賠償への対応 即ち従来の日医医師賠償責任保険では年間総てん補限度額（最高限度額）1被保険者につき1億円であるが、この限度額を越えて支払い、保証しなければならない医療事故が増加傾向にあり、この日医賠償特約保険は日医医師賠償責任のてん補限度額と合算して1事故2億円、保険期間中6億円としている。

〈2〉「カット払い」の解消、即ち日医医師賠償責任のてん補額の算定に関する特則にありますように、発生した損害につき被保険者の他に法律上損害賠償責任を負担すべき医師（日本医師会A会員である医師を除き）また医療提供施設の開設者がある場合等の医師が負担すべき額を控除して算定し、支払うことがカット払いで、特約保険では日医医師賠償責任で控除される保険金部分を支払うことにより、カット払いを解消している。即ち日医賠償責任はA会員以外の他の医師に責任がある場合や、法人固有の責任については、その責任負担額部分を控除して支払われる。所謂カット払いである。特約保険では日医医師賠償責任で控除される保険金も支払うこととなり、カット払いを解消している。このカット払いの解消は長い年月の交渉によってなされた画期的な保険であります。尚免責金額は日医医師賠償責任と同じく1事故100万円であります。任意加入ではあるが保険であるので多くのA会員が加入して頂きたいと申ししておりました。

（3）医師信用組合より

岩手医師信用組合

理事 秋浜 晃

金融不安の中医師信用組合は健全経営をやっています。大いに活用して医療の繁栄に役立てていただきたい。



（4）産業医部会より 産業医部会理事 八角 正司

毎年行っております、岩手県医師会主催の産業医実地研修会を来る10月13日（土）に、玉山村のアルプス電気（株）において開

催する予定です。時間は午後2時よりの予定ですが、研修内容等確定しましたらお知らせします。認定産業医諸先生方のご参加をお願いします。



第13回東北学校保健、学校医大会の報告 上原 充郎

上記大会が「21世紀の学校保健」をメインテーマとして東北医師連合会主催、岩手県医師会担当で7月28日（土）29日（日）開催された。

28日はシンポジストの打ち合わせ会、開会式、交流会がメトロポリタンニューウイングで実施された。

29日9:30岩手県医師会の高橋牧之介先生の開会の辞で開始された。石川育成県医師会長の挨拶、増田岩手県知事の祝辞で開会行事が終了した。会場には230名以上の参加者が東北6県から集まり、午前の部のシンポジウム、特別講演会、昼食をはさんで、午後の部のシンポジウム、特別講演会と熱心に21世紀の学校保健に取り組んでいた。

以下に2日目のプログラムを掲載いたします。岩手県からは会長、伊藤伸郎先生、山口淑子先生、小生が参加した。

来年の担当は宮城県医師会です。

第13回東北学校保健

・学校医大会プログラム

メインテーマ「21世紀の学校保健」

■7月28日(土)

会場 ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング

16:30～17:30 シンポジウムⅠ・Ⅱ打合せ

17:30～18:00 受付

18:00～18:30 開会式

開会の辞 岩手県医師会副会長 鷹薮研一

挨拶 東北医師会連合会会長 安田恒人

岩手県医師会会長 石川育成

祝辞 日本医師会会長 坪井栄孝

岩手県教育委員会教育長 合田武

18:30～ 交流会

閉会の辞 岩手県医師会副会長 佐藤俊一

■7月29日(日)

会場 岩手県医師会館

8:30～ 受付

9:30～ 開会

開会の辞 岩手県医師会副会長 高橋牧之介

挨拶 岩手県医師会会長 石川育成

祝辞 岩手県知事 増田寛也

司会 岩手県医師会学校

保健担当理事 木澤健一

9:30～11:00 シンポジウムⅠ

テーマ「21世紀の学校保健を考える」

座長 岩手日報社取締役論説委員会委員長
中原祥皓

岩手県医師会学校医部会副会長 黒沢吏

シンポジスト 岩手県学校保健会養護教諭部
会 米澤佳子

岩手県教頭会理事 高橋ひさ子

岩手県PTA連合会会長 久慈竜也

岩手県医師会常任理事 佐藤重雄

岩手県教育委員会事務局スポーツ健康課
菅野由紀子

11:00～12:00 特別講演Ⅰ

座長 岩手県医師会副会長 高橋牧之介

「生涯学習社会における健康教育」

東北文化学園大学総合政策学部教授 石川晋

12:00～13:00 各県代表者会

13:00～14:50 シンポジウムⅡ

テーマ「これからの学校健診と健康教育のあり方—各領域からの検証—」

座長 岩手県医師会学校保健担当理事
大津定子

岩手県医師会学校医部会副会長 渥美健三
シンポジスト

1. 「健康教育と健康スポーツ

～スポーツ医はどのように健康教育に携わるか～」 青森県医師会 斎藤重周

2. 「増え続ける心の病気とその発見について」

宮城県医師会 本間博彰

3. 「秋田県における高校生に対する

性教育の現状と今後の課題」

秋田県医師会 後藤薫

4. 「学校保健に対する眼科医の意識」

山形県医師会 佐藤泰司

5. 「喜多方市における「地域学校保健委員会」の取り組み～特に肥満予防について～」 福島県医師会 高橋亮一

6. 「これからの心臓検診のあり方について～盛岡市医師会・心臓検診委員会10年間の取り組みから～」

岩手県医師会 臼井康雄

コメンテーター 日本医師会常任理事 山田統正

14:50～15:50 特別講演Ⅱ

座長 岩手県医師会副会長 鷹薮研一
「新しい子ども」たちの登場

～社会的自立が難しい子どもたち～

川越市立城南中学校教諭 河上亮一

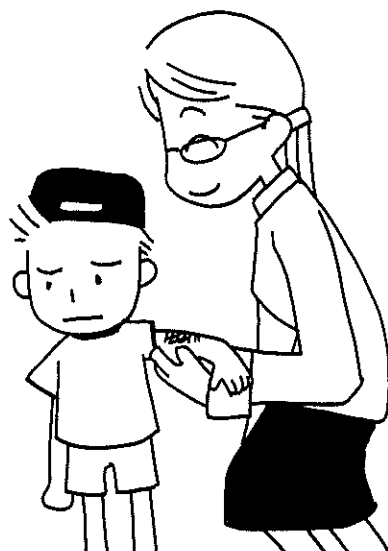
15:55～ 大会決議文

岩手県医師会常任理事 田郷敏昭

次期担当県(宮城県) 医師会長挨拶

16:00 閉会

閉会の辞 岩手県医師会副会長 鷹薮研一



労災部会幹事会報告

労災担当 篠村 達雅

平成13年3月23日、岩手県医師会館にて労災部会幹事会が開催された。(前回は6年前)

◎出席者 (33名)

- ・岩手労働局：3名
- ・(財)労災保険情報センター岩手事務所 (RIC)：1名
- ・自賛会盛岡調査事務所：3名
- ・損保関係者：4名
- ・県医師会：22名

◎部会長：高橋牧之介

副部会長：遠藤直樹、岩動孝、各先生を選出。

◎議題

- ①岩手労働局、RIC、の仕組み、業務内容と最近の話題、件数等。
- ②自賛会、損保会社の仕組み、業務内容と最近の話題、件数等。
- ③日医労災、自賠責委員会について：自賠責の新規準、自賠責の運用益の活用方法等。
- ④労災保険における二次健康診断等給付事業について：日本医師会雑誌3月15日号にこの事業のガイドラインが掲載されている。岩手郡医報2001.3.No.69も参照されたい。
- ⑤労災保険の問題点、ご意見について：労災かくし、トラック運転手の労働時間、アフターケア制度、労災指定医（労災指定医になるのは簡単です。労災指定医療機関になっても、労災患者全ての診療を強制するものではない。）等。
- ⑥交通事故災害における問題点、ご意見：交通事故の患者さんが健康保険で診療を受けるように誘導したり、治療を打ち切る様に圧力をかける保険会社がある。自賠責における心身症の問題。過失割合、休業補償、症状固定の問題、等。

◎労災部会幹事会は年1回開催の予定。

新入会員

- B 佐藤 誠
〒028-7303 松尾村柏台2丁目8番3号
財団法人みちのく愛隣協会 介護老人
保健施設 希望
- B 小野寺英樹
〒028-7303 松尾村柏台2丁目8番2号
財団法人みちのく愛隣協会 東八幡平
病院
- B 宮杜 牧人
〒020-0151 滝沢村大釜字吉水103番地1
社団法人医療法人 栃内病院第二病院
- B 北上 明
〒020-0151 滝沢村大釜字吉水103番地1
社団法人医療法人 栃内病院第二病院
- B 近藤 宗廉
〒020-0151 滝沢村大釜字吉水103番地1
社団法人医療法人 栃内病院第二病院
- B 小田田 宏
〒020-0172 滝沢村鶴飼狐洞1番地104
医療法人社団 松誠会 滝沢中央病院
- B 佐藤 公哉
〒020-0172 滝沢村鶴飼狐洞1番地104
医療法人社団 松誠会 滝沢中央病院
- A 2 和田 妙子
〒028-4134 玉山村大字下田字石羽根
99番地291
医療法人 真彰会 玉山岡本病院
- A 2 宮本 勇二
〒028-4303 岩手町大字江刈内第10地
割28番地3
岩手県立 沼宮内病院
- A 2 薄井 知道
〒020-0573 雫石町南畑32地割南畑沢
265番地
社団法人医療法人 鶯宿温泉病院
- A 坂本 淳
〒020-0873 滝沢村滝沢字菓子1155—8
サマリヤ眼科クリニック
- B 梶原 隆
〒028-5400 葛巻町葛巻第16地割1番地1
葛巻町国民健康保険 葛巻病院

特別講演『アレルギー疾患としてのアトピー性皮膚炎』

東北大学皮膚科 助教授 照井正 先生



特別講演は高橋会長のご子息の直接の指導者であられる東北大学皮膚科助教授 照井正先生が膨大なスライドを使って、大変解りやすく、しかも皮膚科以外のわれわれ実地医家が明日からの診療に役立つ、有意義な講演をいただいた。その大意をサマリーのご紹介したい。

アトピー性皮膚炎にはアレルギー性反応を示す比較的難治なもの、アレルギー性反応を示さない比較的治療し易い非アレルギー性の二種類があり、アレルギー性反応を示す物は専門医や機関病院に紹介し、アレルギー性反応を示さない物は、以下に述べるような的確な所見をつかみ、適切な治療をすれば比較的治りやすいので、日常診療で実践して欲しい。一部マスコミが報道するように「アトピー性皮膚炎は治らない」という概念をお母さん方に植えつけパニックにさせないで欲しい。アレルギー疾患としてのアトピー性皮膚炎は所謂俗療法では治る事もあるが悪化させる事が多いので注意していただきたい。

アトピー性皮膚炎の定義：増悪、寛解を繰り返す、掻痒のある湿疹を主病変で多くはアトピー素因を有するが、素因の無い者も時にいる。

アトピー素因：(1) 家族歴既往歴に気管支喘息、アレルギー性鼻炎、結膜炎、アトピー性皮膚炎のいずれかを一つを有する。

(2) IgE抗体を産生しやすい素因
診断基準：(1) 掻痒

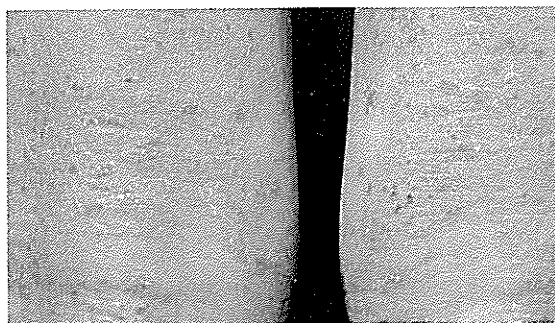
(2) 特徴的皮疹と分布：皮疹は湿疹病変で、紅斑、湿潤性紅斑、丘疹、シヨウ液性丘疹、鱗屑、痂皮等の急性病変と侵潤性紅斑、苔癬化病変、痒疹、鱗屑、痂皮等の慢性病変からなり、左右対称性に分布し、好発部位が年齢により特徴的である。例えば乳児期は頭、顔に始まりしばしば体幹、四肢に下降し、幼小児では頸部、四肢屈曲部の病変であり思春期や成人では顔、頸、胸、背部等の上半身に好発し、慢性で反復する経過を取る。

乳児アトピー性皮膚炎：全額、頸部、耳前部にかけて湿潤性紅斑、丘疹、鱗屑、痂皮を生じ掻爬痕を伴う。前頭から頭頂にかけても同じように、黄色い軟らかな痂皮を認める事が多い。頸部、体部、四肢に生じることも多いが、頸部、膝窩、肘窩以外湿潤を示さないことが多い。この時期では脂漏性皮膚炎との鑑別が重要ですが、充分観察をすれば診断はそれほど困難ではない。



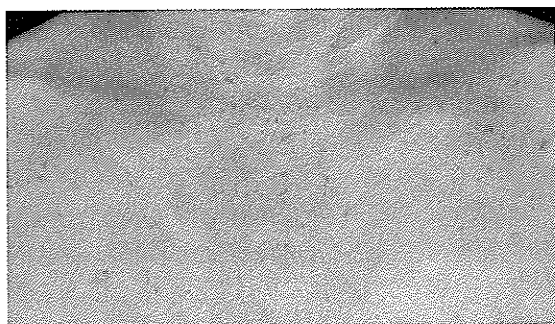
乳児アトピー性皮膚炎

幼小児期アトピー性皮膚炎：この時期では湿潤性が減って乾燥性となり、肘窩、膝窩、項頸部、肩周囲、臀部などに苔癬化紅斑局面を呈し、ハデシイ掻痒のために掻爬痕、痂皮が著明である。このほか前頸部の苔癬化紅斑、耳切れなどもこの時期の特徴的所見である。



幼少児期アトピー性皮膚炎

思春期から成人期のアトピー性皮膚炎：苔癬化紅斑局面が肘窩、膝窩、頸部をはじめ、胸背部、上肢、腰臀部、大腿などにも拡大し、小児期に比べ痒疹様丘疹目立つ。皮疹が長期に持続するため、二次的な湿潤、肥厚、色素沈着、色素脱出の混在する複雑な局面を呈する事が多い。またかつて小児期では好発した肘窩、膝窩を避けて、軀幹、四肢、顔面、頸部上胸背部の高度な皮疹を呈する例が多い。
鑑別診断（除外すべき疾患）：接触皮膚炎、脂漏性皮膚炎、単純性痒疹、疥癬、汗疹、魚鱗癬、脂漏欠乏性湿疹、手湿疹



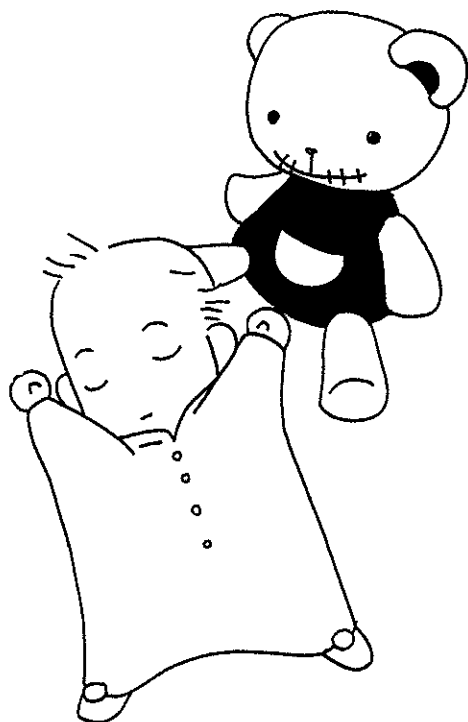
診断の参考項目：家族歴（気管支喘息、アレルギー性鼻炎、結膜炎、アトピー性皮膚炎。）
合併症（気管支喘息、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎）
 毛孔一致性丘疹による鳥肌様皮膚、血清IGE値の上昇、好酸球の増加
臨床型（幼小児期以降）：四肢屈側型、四肢伸側型、小児乾燥型、頭、頸、上胸、背型、痒疹型、前身型、混在型などがある。
合併症：眼症状（白内障、網膜剥離、カポジ水痘様発疹、伝染性軟属腫、伝染性膿痂疹等が時に見られる。

バリア機能低下によるアトピー性皮膚炎
 皮膚表皮は細菌その他の侵入を防ぐ機能、

バリア機能を有するが、摩擦その他何らかの原因や外的刺激により表皮がバリア機能が低下するとアトピー性皮膚炎という乾燥粗造化とバリア機能低下が皮膚特質の基盤となっている。このバリア機能の低下が感染の母地となり、感染症によってもたらされる免疫の変化がアトピー性皮膚炎の発症と病態を変調させる。

黄色ブドウ球菌の増悪因子、レンサ球菌、単純疱疹ウイルスのアトピー性皮膚炎の変調因子、マラセチヤ、カンジダなどの真菌の特異抗体などがアトピー性皮膚炎の悪化因子として取り上げられる一方、結核菌や寄生虫感染による好酸球の増加がアトピー性皮膚炎発症に抑制的に働くなどの研究が注目されているなど、アトピー性皮膚炎の定義から始まり、最近の研究成果や、治療まで幅広く、しかも解り易く、多くのスライドを使用して解説いただいた。明日からの日常診療に役立つ素晴らしい特別講演であった事をここに報告し、感謝の意を表したい。

（文責 坂井博毅）



懇親会

総会終了後、高橋会長と特別講演々者の照井先生のご挨拶、新入会員の鶯宿温泉病院の薄井知道先生の自己紹介があり、佐藤郁男先生の乾杯の音頭で懇親会が盛大に開催された。

アトラクションでは上原先生のトランペットとサキソホン演奏があり、照井先生や会長その他の会員の先生方がカラオケを楽しみ愉快的な夜を過ごした。



新入会員自己紹介の薄井先生



乾杯の音頭の佐藤先生



第9回岩手県北周産期研究会プログラム

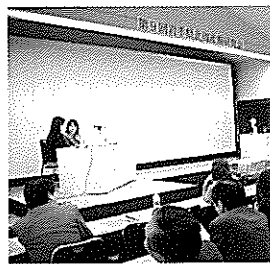


9年前から岩手県北の助産婦さんや看護婦さん、パラメディカルの方々の周産期の研鑽を主な目的として、岩手県北を福岡地区、久慈地区、岩手郡の3ブロックに分け、当番制で研究会を開催して来ました。今年は岩手郡が当番のため私坂井が世話人となり6月9日、ホテル安比グランドで開催させていただきました。本会の開催にあたって年会費2万円を毎年岩手郡医師会に御負担うおかけしております。この場をお借りし厚く御礼申し上げます。

今回は下記的一般演題3題と分娩様式に関するシンポジウムという形式で行った。シンポジウムに先立ち「快適で安全な出産のための分娩様式」と題し、基調講演を日本母性保護医協会常任理事で、仙台の向仁会永井病院理事長の永井宏先生からしていただいた。

それに引き続きトータルコーディネーターの前県立久慈病院産婦人科部長で現在、県立千厩病院副院長の小笠原敏浩先生の司会で、「分娩スタイルを考える」のテーマでパネルディスカッションが行われた。パネリストは4人で「総合病院での分娩スタイル」と題し、県立久慈病院、東大野朋子さんが病院でのフリースタイル分娩の取り組みを、「助産院での分娩スタイル」と題し、八戸のキッズ助産院の島名恵さんが助産院でのフリースタイル分娩を、「開業医での分娩スタイル」と題し、盛岡の黒川産婦人科の藤原幸子さんが開業医でのフリースタイル分娩の取り組みを紹介した。以上3人が自然分娩の一つフリースタイル分娩の紹介であったのに対し、岩手町の塚谷医院の塚谷栄紀先生が、「私のやっている無痛分娩」と題し、岩手県では取り組んでいる施設が少ない硬膜外麻酔分娩を紹介された。助産婦さんが主体の自然分娩と医師の専門技術が要求される計画無痛分娩の対比が興味深く面白か

った。それに基づきトータルコーディネーターからの質問に答えたり、パネラー間での活発なディスカッションが行われた。



引き続き島信先生の司会進行で懇親会が行われた。高橋郡医師会長のお祝いの伝言御披露の後、国本恵吉先生の歓迎のご挨拶、利部輝雄教授のご祝辞とセレモニーが行われ、塚谷永紀先生の乾杯の音頭で酒宴が開かれた。

アトラクションは岩手郡医師会の理事でトランペット、テナーサックスの名演奏者の上原先生のご協力をいただき会を盛り上げていただいた。いつもながらの上原先生の名演奏に会員一同聞きほれ、会場のあちこちに感心のため息がもれました。

上原先生のご指導で付け足しの当院の職員のコーラスも披露させていただきました。上原先生には心から感謝申し上げます。

(文責 坂井)



懇親会司会の島先生



歓迎の挨拶の国本先生



ご祝辞の利部教授



乾杯の音頭の塚谷先生



第9回岩手県北周産期研究会プログラム

日 時：平成13年6月9日(土)

場 所：ホテル安比グランド

セントラルスキーセンター

宴会場『御月山』

住所 岩手県二戸郡安代町安比高原

TEL. 0195-73-5011

当番世話人：坂井 博毅(坂井医院)

共催 岩手県北周産期研究会

アベントイスファーマ(株)

後援 岩手県医師会岩手郡医師会

日産婦岩手地方部会

日母産婦人科医会岩手県支部

協力 明治乳業(株)・森永乳業(株)

雪印乳業(株)・アイクレオ(株)

会 費：医 師 10,000円

一般会員 2,000円 徴収します

本会出席の産婦人科医には認定医シールを発行します

1. 第9回世話人挨拶

滝沢中央病院 菊池保子

(午後3時10分～午後3時40分)

2. 一般演題

座長 小野寺美津江(県立福岡病院)

1) 産後の避妊指導の充実にむけて

～避妊に関する意識調査から～

県立久慈病院 燕田麻紀 大粒来レイ子

馬場伊久子

2) 精神分裂病患者の分娩産褥期の援助

県立福岡病院 佐々木久美子

3) 妊婦遠隔健診事業のまとめ

県立千厩病院 小笠原敏浩

3. 基調講演(午後3時40分～午後4時25分)

座長 坂井博毅(坂井医院)

『快適で安全な出産のための分娩様式』

向仁会 永井病院 理事長 永井宏先生

休憩(午後4時25分～午後4時40分)

4. シンポジウム

(午後4時40分～午後6時40分)

テーマ『分娩のスタイルを考える』

トータルコーディネーター

小笠原敏浩(県立千厩病院)

アドバイザー永井宏(向仁会 永井病院)

シンポジスト

総合病院での分娩スタイル

東大野朋子(県立久慈病院)

助産院での分娩スタイル

島名恵(き子キッズ助産院)

開業医での分娩スタイル

藤原幸子(黒川産婦人科医院)

私のやっている無痛分娩

塚谷栄紀(塚谷医院)

5. 懇親会(午後6時50分～)

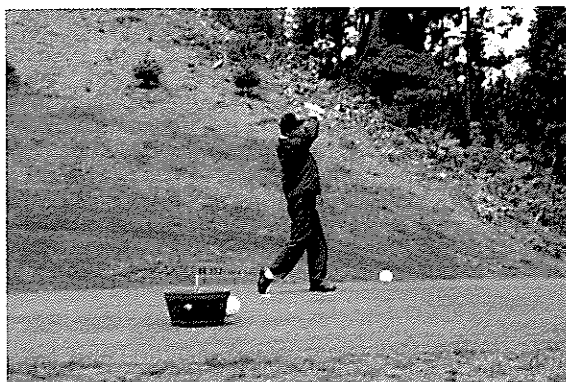
於：ホテル安比グランド『竜ヶ森』

平成13年度岩手郡医師会親睦春期ゴルフ大会

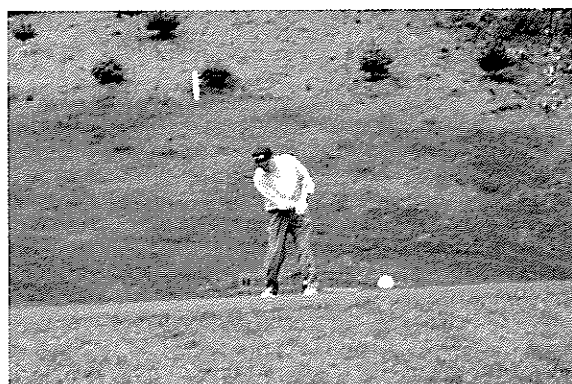
5月24日(日)あいにくの小雨混じりの中、岩手沼宮無カントリークラブに於て、瓜田明義、小山田喜敬、久保谷康夫、坂井博毅、嶋信、高橋牧之介、細井信夫、三善悟の8人の先生方の参加のもと、ダブルペリヤ方式で熱戦が繰り広げられた。優勝はグロス87、ハンディ14.4、ネット72.6で久保谷康夫先生が優勝カップ会長杯を手にした。



当日の参加者集合記念撮影



優勝者久保谷選手の華麗なスイング



会長に始球式(ナイスショットでした)



表彰式並びに懇親会風景

成績

順位	氏名	北〇	北I	グロス	ハンディ	ネット
1	久保谷康夫	48	39	87	14.4	72.6
2	嶋 信	46	43	89	14.4	74.6
3	三善 悟	47	49	96	18.0	78.0
4	細井 信夫	52	47	99	20.4	78.6
5	坂井 博毅	43	38	81	2.4	78.6
6	瓜田 明義	56	56	112	30.0	82.0
7	小山田喜敬	53	57	110	26.4	83.6
8	高橋牧之介	71	66	137	36.0	101.0

郡医師会ゴルフ大会に優勝して 久保谷 康夫

5月24日(日)小雨まじりの沼宮内カントリークラブに於いて岩手郡医師会恒例のゴルフ大会が開催された。久しぶりに高橋会長の参加を仰ぎ、会員一同日頃の練習不足も気にせずスタートした。

いつものことだが、昼休みのクラブハウスはコンペというより親睦の為に参加したといった表情の会員で一杯になる。スコアは天気が悪いせいだと、余り気に止めていないようだ。どのスポーツでも練習・努力の無いところによい結果は無いことなど重々承知しているが、診療多忙で練習などしている暇は無いと自分に言い聞かせているようだ。

高橋会長と久保谷で同行させていただいた。いつものことながら高橋会長の始球式の球筋は感心させられる。今回もフェアウエー右サイドを見事に捕らえた。しかしいざ本番になると必ずしも見事な球筋であったとは表現しがたかった。

考えてみるに、始球式の球筋は練習・努力とは無縁である。練習・努力と無縁な行為な結果が良好で、縁のある行為を結果が非良好であったのは診療多忙のためか。いや医師会活動多忙のためであろう。

決まり文句だが、パートナーとハンディキャップに恵まれて、久しぶりに優勝することができた。ベストグロスは毎度のように坂井先生がとられた。

練習の大切さを痛感しながらクラブハウスを後にしたのは、多分小生ばかりではなかったと思う。

経済財政諮問会議 「基本方針」の主な論点と影響

1. 株式会社の医療参入

○非営利法人との会計構造の相違から派生する医療費の増大

○実利追求型の企業論理の横行→医療倫理の崩壊

2. 医療費総額の伸びの抑制

○経済波及効果大の産業の成長阻害→経済全体へのマイナス影響

○医療の質の低下→国民の健康へのマイナス影響

3. 公的保険による診療と自由診療との併用

○混合診療の容認→現物給付制度の崩壊→患者負担の増大→フリーアクセスの阻害

4. 保険者と医療機関との直接契約

○平等性の崩壊→フリーアクセスの崩壊

声明

小泉内閣は各分野における改造改革に積極的に取り組む姿勢を打ち出している。

日本医師会、日本歯科医師会、日本薬剤師会は、社会保障制度、とくに医療構造改革の問題の重要性と緊急性に鑑み、その姿勢を高く評価するものである。

構造改革の推進に当たって、昨日、経済財政諮問会議からその「基本方針」が公表されたが、経済財政改革ばかりに重点をおくことによって、わが国の社会保障制度の崩壊を招くことがないように、以下に指摘する点に留意されることを強く望む。

1. わが国の社会保障、とくに医療保障の基本は「自助、互助、公助」からなっており、そのバランスの議論はあり得るとしても、基本理念が失われてはならない。(医療の基本理念)

2. わが国の医療及び医療制度は、国民の健康増進と生命を守ることを通じて、全ての国民に公平で平等な生活を保障し「安心できる」社会を作ること为目标とするものである。(国民皆保険体制のフリーアクセス)

3. 医療及び医療制度の第一義的目的は、本来経済性や営利性の追求ではなく、人命の尊重と保護であり、いわゆる市場経済原理が必ずしもなじまないことを確認すべきである。(医療の非営利性)

4. 改革に当たっては「安心できる」社会の基盤となる安定的で継続性のある医療体制を作ることが重要であり、医療については治安や防災、教育などと同様に公共財としての位置付けを明確にすべきである。(医療の公共的使命)

5. 医療従事者は、高い倫理観と専門性をもって医療行為を行う重い責任と義務を負う。(医の倫理とプロフェッショナルフリーダム)

産業廃棄物に思う 西島 康之

新世紀を迎え、早200日が経とうとしております。ここで、前世紀を振り返ってみますと、その想いは人それぞれでしょうが、20世紀は、戦争・人命軽視・自然破壊の世紀であり、特に最後の10年間は、日本経済にとって、失われた10年とでも言うべき年月であったと、私は思っております。私共はその反省に基づき、新しく迎えた21世紀は夢と希望の持てる新世紀であるようにと願っているわけですが、それを実現する為の大きな課題の一つは、いわゆるゴミ問題ではないかと考えます。

今、世界の至るところで、環境問題が大いに論じられています。地球上での人類の活動は果てしなく膨張し続けておりますが、その一方で、もたらされるマイナス面は大きく、且つ深刻なものがあります。ちょっと挙げてみただけでも、フロンガスによるオゾン層の破壊、二酸化炭素の濃度上昇による地球の温暖化、気象や海流の異常化、原生林の伐採による砂漠化、酸性雨による森林や湖や沼の被害拡大、環境ホルモン（ダイオキシン）等々枚挙にいとまがありません。その当然の結果でありましょう。先進諸国の野生生物調査（レッド・データ）では、各種動植物の大量の死滅が報告されています。このような自然の破壊や異常化は、単なる自然現象ではなく、間違いなく、我々人間の手によって引き起こされた現象であり、しかも急速に進んでおり、ひいては我々人類を含むあらゆる生物の根源である地球そのものの生命さえ脅かす事態であります。人類は今こそ、こぞって地球の生命の危機を認識し、人間の手による地球破壊をどう食い止めるかを真剣になって考えるべき段階に至っております。

目を世界から日本に移しますと、各地方で豊かな自然の荒廃ぶりが伝えられ、恵まれた風土のわが岩手も決してその例外ではありません。県の環境白書によれば、生活環境はおおむね良好となっているものの、河川は生活排水で汚染され、大気には自動車の排気ガスが濃く漂い、騒音公害等も増加しているという現状であります。そして、更に、開発事業による原生林の伐採等の環境破壊が心配され

ております。

このような状況の中でここ数十年来、全国的に問題になっているのが、産業廃棄物による地下水汚染、および大気汚染であります。首都圏に於ては、産業廃棄物やその最終処分場の用地確保が難しくなり、東北地方にその場を求めて来ています。現に岩手県に於ても二戸市と青森県にまたがる大規模不法投棄が発覚するなど、重大な問題が生じており、わが葛巻町も平成元年よりこの問題に直面しているのは、皆さんご存じのことです。

葛巻町は立地条件は厳しいとはいえ、豊かな自然に恵まれ、多くの先人達の努力によって、酪農と林業を基幹とする産業を発展させて来ました。もし、当町に前述のような問題が起きた場合、将来、地下水汚染や大気汚染等が、生活環境に悪影響をもたらすことは必至であり、我々町民はもちろんのこと、青森八戸市に注ぐ馬淵川流域住民の健康や生活に重要な影響を及ぼすことになります。

水と人との関係を考えて見たとき、暮らしのそばに必ず水があり、もし水がなかったら生命が芽生えることはなかったでありましょうし、四大文明を持ち出すまでもなく、文化文明の発達はある得ませんでした。そして水無しでは、過去は言うまでもなく、これからの21世紀、豊かな未来を創造することは不可能であると断言出来ます。

産業廃棄物の問題は、一地方自治体のみの視点から考える問題ではなく、地球環境というグローバルな視点から考えるべきであり、全世界的、全人類の視野に沿って解決しなければならないものに他なりません。と同時にこの問題の重要さを私共一人ひとりが十分に認識し、例え個々の力は小さなものであっても、お互い力を合わせていかなければなりません。そのためまぬ努力あってこそ初めて、この21世紀を夢と希望に満ちたものとする事が可能になるのだと堅く信じております。

最後に、「南米失落の50年」からの一節を記し、筆を置きます。

人類が自然を保護していると思うのは
凄いい自惚れである。
自然が人間を含めた生物を保護しているのだ。
人間が自然を破壊するのは、
親殺しと同じである。

安比高原にコーラスが流れた

上原 充郎

「こんにちは、赤ちゃん、あなたの笑顔……私がママよ」

美しいハーモニーのコーラスが安比高原の初夏の夕刻、ホテル安比グランド宴会場「竜ヶ森」の爽やかな空気の中を流れ、会場の参加者の心の静かに、心地良く沁みこんだ。6月9日、第9回岩手県北周産期研究会が午後から開催され、120名以上の参加者で大変熱のこもった研究会が行われた。そして、今は懇親会の最中である。

2ヶ月ほど前、坂井先生から、「上原君」と話があった。それは今日の懇親会に私にラップでも演奏してくれないかとのことだった。私はその時、このコーラスを提案し、すぐさま話が決まったのだった。メンバーは坂井先生の全スタッフ。曲目は産婦人科の会だからということで、あの有名な「こんにちは、赤ちゃん」をやりたいと坂井先生からの申し出。どの様にハーモニーをつけようかと、繰り返し、繰り返し、カラオケを聞いてみたり、ハーモニーを口ずさんでみたり、録音を試みたり四苦八苦して自分なりに完成した。私のへたくそな歌でメロディーとハーモニーと別々に録音し、歌詞カードと共に坂井先生へ人数分お届けした。他の局は三木露風作詞、山田耕作曲「赤とんぼ」(ゆうやけこやけの赤とんぼ……) 武島羽衣作詞、滝廉太郎作曲「花」(春のうららの……)の二曲である。これ等もパート別に録音して、お届けした。しばらくして、坂井先生から「朝会のときに、全員でコーラスの練習をしている。スタッフ全員の心が目標に向かって一つになるという事がとても良い」と言うお話を戴いた。とても、良い事だと思った。

6月9日が近づいた頃、坂井先生のスタッフに、我が家に来ていただいて、短時間でハードな特訓を行った。ありがたい事にスタッフの皆さんはそれぞれ、自分のパートを良くマスターして来てくれていたので心を入れるところ、歌詞のつなぎ方、心のつなぎ方、アクセントをつけるところ、曲の山の持っていく方等、私なりに勝手な注文をつけたにもかかわらず、皆さんはよく辛抱してくれて三曲きれいなコーラスが出来上がった。特訓が終わって「焼肉じゅうじゅう」でみんなで、当日のことを話しながら生

ビールと焼肉をいただいた。そして、上は白、下は黒のユニホームを作ることまで、話はエスカレートした。

ゆうやけこやけの赤とんぼ……スタッフのコーラスをバックに坂井先生のソロが美しく調和した。コーラスメンバーも坂井先生も指揮する私も大満足。曲が終わると会場から大きな拍手。春のうららの隅田川……リズムカルなテンポに春の夕暮れののどかな風景を美しく歌いあげた。歌い終わったスタッフの上気した顔がとても輝いて見えた。お酒も、お料理もおいしかった。



恥ずかしながら表紙の絵

もともと医師は絵が上手なはずです。医家芸術展を観ても多くの先生が大作を出展している。坂本泉先生のようにプロ級の方もいるし、上手な絵を発表なさっています。これは医師は絵の勉強について、芸大などより物を正確に又緻密に観る目をもっていると思っている。もし人物画を描くとしたら、解剖実習が大いに役立つように思う。骨格はもとより、関節の部分など、良く描かれていると思って拝見しています。例えば中世と近代画の境をなすルネッサンス時代は人体解剖、一点透視の遠近法、事物の入念な観察と写生をやり、中世代の絵画と大きな相違があるといっている、まさに医師の日常がこの技法を学んでいる、おおげさかな？特に其のころの具象画を観るとき安心して観れるし、好感をもって観ています。さらに解剖後のシェーマを描いたり、手術所見を書くにつけては、常に絵の勉強をしていることになる。何日かけても良い、ゆっくり、ゆっくり自分だけの絵が描ければ良い。一昨年「小さい絵と小さい書」の個展を開かせていただきプロの絵描きからのご批評戴いたがこれも勉強になったが、これからも孝でなければ描けない絵を楽しんで描いていきたいと思っている。

しかし、医師は字がへたかも……。

(雫石 高橋 孝)

編集後記

○年6回の医報発行計画ですが、今回の発行が大変遅れてしまい、心からお詫びしたいと思います。医師会総会などの大きな事業がありませんと内容が同人雑誌的になってしまうことを恐れ広報的な編集が出来ず、延び延びになってしまいました。

○今回も総会特集号になりましたが、特別講演は日常診療に大変役立つ内容でしたので、少し詳しく記載させていただきました。録音テープから立ち上げ、日本医師会雑誌を参考に記載しましたので時間がかかりました。

○原稿が無く苦慮しました。投稿ご協力下さい。

岩手郡医報：No.70／2001年8月24日発行
編集・発行：岩手郡医師会
印 刷：(株)熊谷印刷